

大学自己評価部会だより

第25号 (平成24年1月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

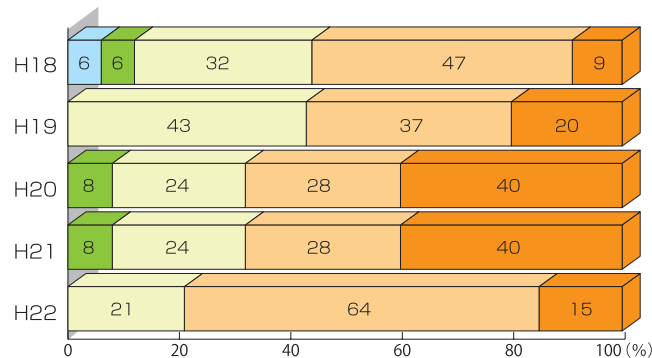
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成18～22年度の5年間を比較しました。

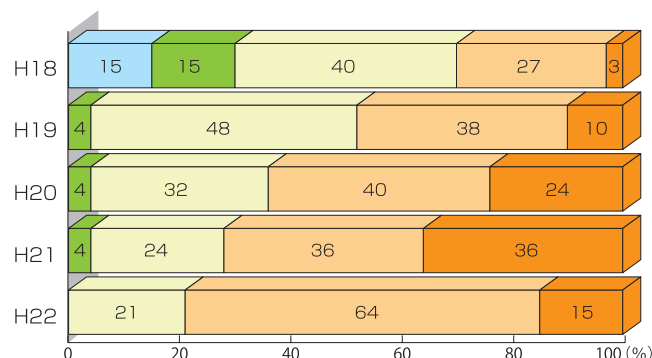
①主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、講義・実習の充実を図ってきました。主科目、副科目・選択科目ともに満足度が高くなっているようです。

主科目に
対する満足度



副科目・選択科目に
対する満足度

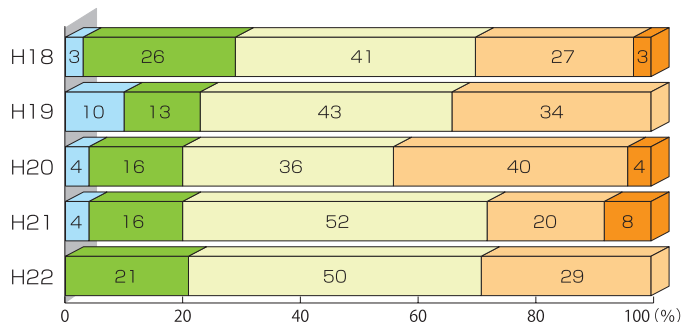




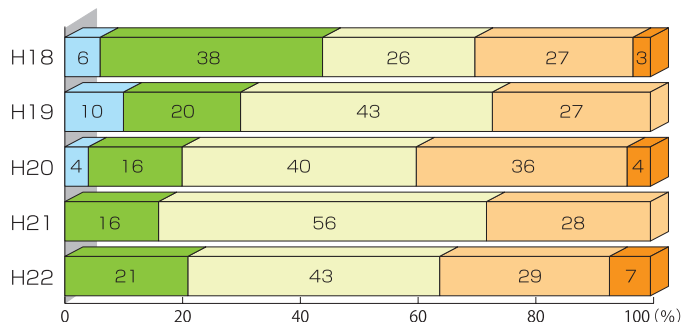
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の判り易さ、学習相談(研究に関する相談)や助言についての適切さについては、5年間大きな変化は見られません。大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、「そう思わない」の割合が大幅に減少しています。

授業要綱は判り易いですか

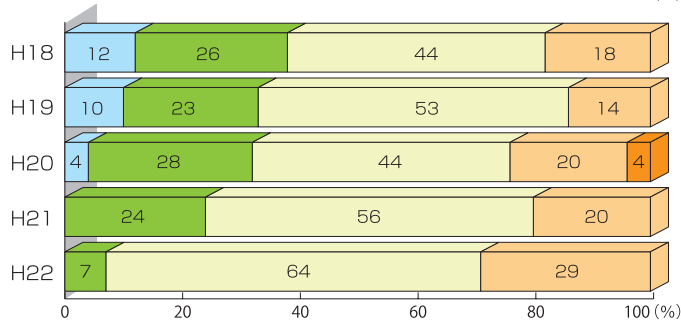


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

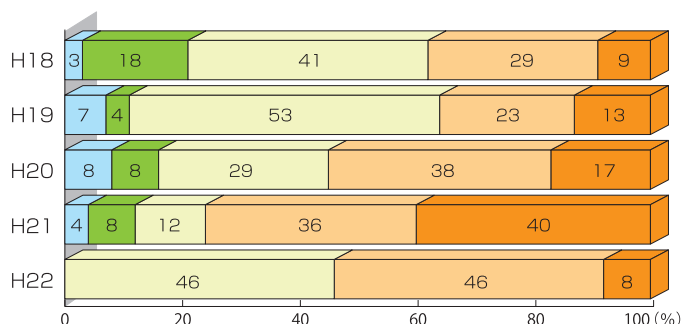
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度の低い学生の割合は大きく減りましたが、満足度の高い学生の割合もやや減少しています。今後はさらに研究指導に満足する大学院生の割合が増えるように努力をしていかなくてはなりません。

現在の研究指導に満足していますか



- 高い
- 少し高い
- 普通
- 少し低い
- 低い

